

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態
がん看護学実習 I (役割機能実習)	1	後期	2	実習 90時間
担当教員	岡本明美、千葉恵子			
授業概要	がん看護専門看護師の役割(実践、相談、調整、教育、研究、倫理調整)をがん看護専門看護師と共に実践することで、がん看護専門看護師の役割理解を深めるとともに、自身ががん看護専門看護師としての役割機能を発揮する能力を習得する上での課題と方法を明確にする。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. がん看護専門看護師が患者・家族に提供する高度な実践の目的や内容について述べるができる。 2. がん看護専門看護師が行っている教育活動の目的や内容について述べるができる。 3. がん看護専門看護師が行うコンサルテーションの特徴や具体的方法を述べるができる。 4. がん看護専門看護師が行う多職種との調整を必要とする問題や調整上の留意点、具体的方法について述べるができる。 5. がん看護専門看護師が携わる倫理的問題とその対応について述べるができる。 6. がん看護専門看護師が実施・指導している研究活動の目的や内容について述べるができる。 7. 見学したがん看護専門看護師の行う看護実践、教育、相談、連携・調整等を分析し、専門看護師として活動する上での自己の課題について述べるができる。 			
履修条件	がん看護学特論 I～Vおよびがん看護学演習 I・II を修得していること。			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 実習内容 がん看護専門看護師が勤務する施設で、CNS 活動のシャドーイングを通して以下の専門看護師の6つの役割機能について理解を深める。 ①実践、②コンサルテーション、③調整、④倫理調整、⑤教育、⑥研究・社会貢献 2 実習方法 ・がん看護専門看護師に必要とされる6つの能力を効果的に理解できるように、実習指導者の指導を受けながら実習計画を立案する。 ・がん看護専門看護師が看護師を含むケア提供者に行うコンサルテーション、調整、教育、研究、倫理調整の場に参加する。 ・がん看護専門看護師の実践状況の見学や講義を受ける。 ・日々の実習での学びをフィールドノートに記載する。 ・カンファレンスや事例検討を通して、専門看護師の6つの役割や機能について理解する。 ・がん看護専門看護師として活躍するうえでの自己の課題等について考察し、レポートを作成する。 ・中間カンファレンスと終了カンファレンスを計画し実施する。 3 実習施設 亀田総合病院 千葉県がんセンター 4 実習時期と期間 1年次後期～2年次前期 2週間 			
教科書	なし			
参考書	<p>がん看護学特論 I～Vおよびがん看護学演習 I・II で使用した文献 Hamric, A.B., Hanson, C.H., Tracy, M.F. et al 中村美鈴、江川幸二監訳：高度実践看護 統合的アプローチ、ヘルス出版、2017.</p> <p>専門看護師の倫理調整の役割と実践、日本看護倫理学会誌、1(1)、12-16、2008.</p>			
評価方法・基準	実習でスーパービジョンを受けたがん看護専門看護師による評価(10%)、カンファレンス内容(20%)、最終レポート(70%)を総合して評価する。			
事前・事後学習	<p>事前学習：今までの学修内容を確認し、実習における課題を明確にする。</p> <p>事後学習：実習記録およびレポートを作成する。</p>			
備考	特になし			